

-High Bright- ハイブライツ 取扱説明書

保存用

お買い上げありがとうございます。本製品をご使用になる前に必ずお読み下さい。
また、お読みになられたあとも、大切に保管して下さい。



本体品番・価格

〈既製品番〉

LU-HS □ **1515**

N ... 昼白色 (5000K)
LL ... 電球色 (2700K)

〈別注品番〉

LU-HC □ **1515**

N ... 昼白色 (5000K)
W ... 白色 (4200K)
O ... 温白色 (3500K)
LL ... 電球色 (2700K)

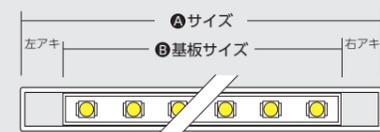
セット商品

- ボディ (アルミ) ●LED基板
 - 基板コード (取り外し不可) ●専用レンズ
- 本体カラー: 〈既製〉アルシルバー
〈別注〉アルシルバー・ステンカラー
- 本体材質: アルミ

〈既製〉	〈別注〉
カット不可	カットOK
色替不可	色替OK

アキ寸法の算出

灯具本体端部から基板までの距離 (アキ寸法) は下記のように計算してください。



$(A \text{ サイズ} - B \text{ 基板サイズ}) \div 2 = \text{片側アキ寸法}$

既製サイズ

A サイズ (mm)	B 基板サイズ (mm)	電流 (A)	電力 (W)	連結可能灯数 (1電源につき)			
				LU-HAD-JC LU-HAD-CT	連結時電力 (W)	LU-HADS	連結時電力 (W)
596	540	0.272	6.52	3灯	19.59	1灯	6.53
696	540	0.272	6.52	3灯	19.59	1灯	6.53
896	810	0.408	9.79	2灯	19.59	1灯	9.80
1196	1080	0.544	13.1	1灯	13.10	×	×

別注サイズ

A サイズ (mm)	B 基板サイズ (mm)	電流 (A)	電力 (W)	連結可能灯数 (1電源につき)			
				LU-HAD-JC LU-HAD-CT	連結時電力 (W)	LU-HADS	連結時電力 (W)
165~299	135	0.068	1.63	14灯	22.8	6灯	9.8
300~434	270	0.136	3.26	7灯	22.8	3灯	9.8
435~569	405	0.204	4.89	4灯	19.6	2灯	9.8
570~704	540	0.272	6.52	3灯	19.6	1灯	6.5
705~839	675	0.340	8.16	2灯	16.3	1灯	8.2
840~974	810	0.408	9.79	2灯	19.6	1灯	9.8
975~1109	945	0.476	11.42	2灯	22.8	×	×
1110~1244	1080	0.544	13.05	1灯	13.1	×	×
1245~1379	1215	0.612	14.68	1灯	14.7	×	×
1380~1500	1350	0.680	16.32	1灯	16.3	×	×

B-1 棚下への取り付け方 ブラケットの内側に設置する

内々仕様 灯具本体がブラケットの内側に装着される仕様です。棚外々・棚内々 (シングルスパン) ・棚内々 (連続スパン)

15×15ベーシックスリム

対象灯具



4) ハイブライツ 5) ローエナジー



1 灯具本体の両端にフラットホルダー (LU-FH) を装着します。フラットホルダーは奥までしっかりと挿し込んでください。



LU-FH
フラットホルダー

2 当社ブラケット (R-120GHS / R-121GHS / B-120 / B-121 等) を当社サポート柱に取り付け、灯具本体をブラケットに装着してください。棚内々仕様時は安全の為 F-10、F-11 を必ずご使用ください。

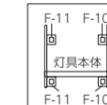


※(ブラケット250以上) ※(ブラケット250以上)
LU-CDS-C ケース付シングルコード LU-CP コード収納パーツ LU-CC ブラケット用コードカバー

(上記のうち1つ選択)

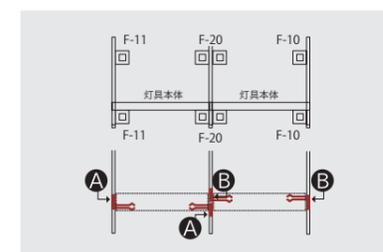


F-10 Fホルダー F-11 Fホルダー



連続スパン時 (棚外々の場合は不要です)

スパンが連続する場合は、図 A・B のようにフラットホルダーを挿入すると灯具本体のレベルが均一となります。安全の為 F-10、F-11、F-20 を必ずご使用ください。



F-10 Fホルダー F-11 Fホルダー F-20 Fホルダー

灯具のカット寸法注意

▲ 灯具エンドに使うアタッチメント分の寸法をマイナスしてご発注ください



B-2 棚下への取り付け方 ブラケットの先端に設置する

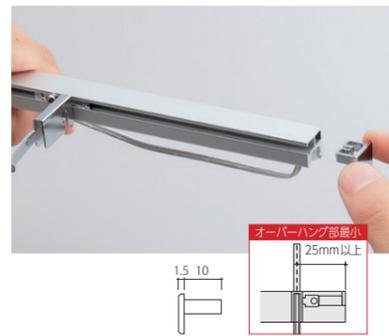
オーバーハング仕様 ブラケットの先端に灯具本体が装着される仕様です。



1 灯具本体の両端からスライドホルダー (LU-SH) を溝に装着しスライドします。左右がありますので、ハネ部分の長い方が内側になるように挿入してください。同じく、逆からもスライドホルダーを挿入します。灯具本体の切断寸法はワイドφ3mm(エンドキャップ: 1.5mm×両端)です。



2 留める位置をある程度決め、付属のビスで仮止めをしてください。またエンドキャップを灯具本体の両エンドに取り付けてください。



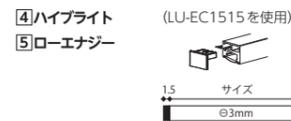
3 当社サポートにブラケットを取り付け灯具本体を装着してください。壁に対しブラケットが垂直になる位置でスライドホルダーのビスを最後まで締め込んでください。



⚠ 連結可能灯数は規定範囲内でのご使用を厳守してください。規定範囲をオーバーすると火災及び故障の原因になります。より安全にご使用頂くように、安全アタッチメントパーツを各種取り揃えております。ご相談ください。

灯具のカット寸法注意

⚠ 灯具エンドに使うアタッチメント分の寸法をマイナスしてご発注ください



壁面からブラケット先端までの寸法算出

Rシリーズブラケット メインカタログ 2100				Bタイプブラケット メインカタログ 2110			
品番	呼び名	品番	呼び名	品番	呼び名	品番	呼び名
R-120GHS	150	R-121GHS	300	B-120	150	B-121	300
	180		350		180		330
	200		400		200		350
	250		450		250		400
	270		37		270		420
	300				300		450
	330				330		500
	350				350		550

壁面～先端までの寸法 (本体) 下取
15・30・37 (ブラケット) - (マイナス) 呼び名

壁面～先端までの寸法 (本体) 下取
15・30・37 (ブラケット) - (マイナス) 呼び名

B-3 棚下への取り付け方 スチール棚に設置する

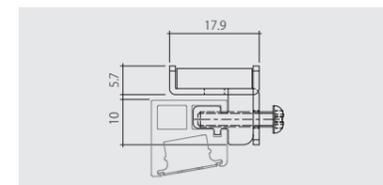
スチール棚仕様 マグネットホルダーを使ってスチール棚に灯具本体を取り付ける仕様です。(取り付けビス付属)



1 マグネットホルダーのツメ部分を、灯具の横ミゾに合わせてスライド挿入します。



2 マグネットホルダーの位置の微調整を行ない、付属のビスをドライバーで締め込みます。



3 15×15用エンドキャップ (LU-EC1515) を取り付けて完了です。



⚠ 安全のため、灯具本体 750mm 以上の場合はマグネットホルダー (LU-MGH1515) を3個以上ご使用ください。また、落下の可能性があるので、750mm 未満の場合でも最低2個は必ず使用してください。



B-4 棚下への取り付け方 キャッチャーを使って木棚に設置する

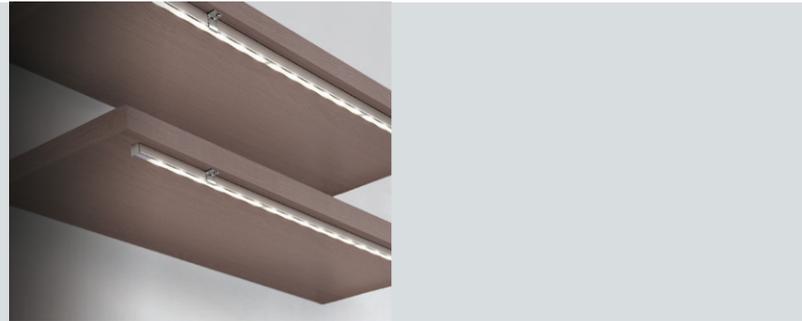
木棚キャッチャー仕様 キャッチャーを使って木棚に灯具本体を取り付ける仕様です。(取り付け用ビス付属)

15×15ベーシックスリム

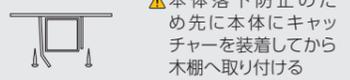
対象灯具



④ハイブライト ⑤ローエナジー



- 1 灯具本体 (LU-HSN1515 など) に 15×15 用木棚キャッチャー (LU-WC1515) と 15×15 用エンドキャップ (LU-EC1515) を付けます。15×15 用木棚キャッチャーは取り付け向きにご注意ください (長い方が手前に来るように取り付けてください)。



▲ 本体落下防止のため先に本体にキャッチャーを装着してから木棚へ取り付ける

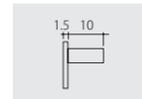
※ 灯具本体 (LU-HCN1515 など) の切断寸法はワイド ⊙ 3mm (エンドキャップ: 1.5mm × 両端) です。



LU-WC1515
15×15 用木棚キャッチャー
(ビス付属)

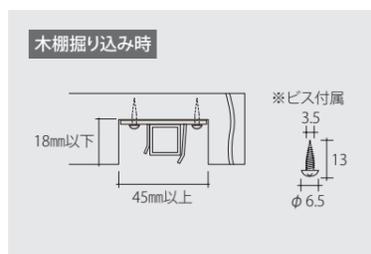


LU-EC1515
15×15 用エンドキャップ

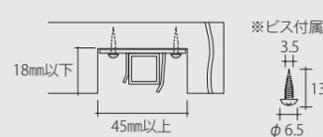


- 2 ビス固定します。(パーツビス穴: φ5) 木棚掘り込み時は、右記のサイズを参照して掘り込みをしてください。

- ▲ 放熱のため必ず 45mm 幅以上を確保してください。
- ▲ 必ず付属のビスで取り付けてください。皿ビスで取り付けるとキャッチャーの固定が弱くなります。



木棚掘り込み時



- ▲ 安全のため、灯具本体 750mm 以上の場合は 15×15 用木棚キャッチャー (LU-WC1515) を 3 個以上ご使用ください。また、落下の可能性があるので、750mm 未満の場合でも、最低 2 個は必ず使用してください。

木棚キャッチャー (LU-WC1515) **3つ以上**



B-7 棚下への取り付け方 帆立ダボ展開で設置する

帆立ダボ仕様 帆立ダボの内側にアタッチメントをはさみ、灯具を取り付ける仕様です。

※ 設置には帆立にダボ (ガラス棚用) が付いていることが条件となります。(別売)
推奨ダボ: ELSC-12 サイズ 20、ELDC-12 サイズ 20

15×15ベーシックスリム

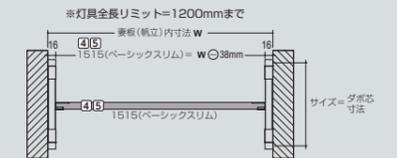
対象灯具



④ハイブライト ⑤ローエナジー



〈灯具のカット寸法〉
④⑤ 15×15 ハイブライト・ローエナジー



▲ 灯具エンドに使うアタッチメント分の寸法をマイナスしてご発注ください。

- 1 ①アタッチメントの灯具固定ホルダーのビスを任意の位置で固定します。

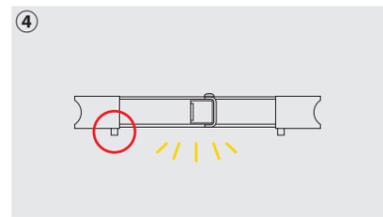


LU-DH1515
帆立インサイド
ベーシックスリム用

- 2 ②固定したホルダーに灯具を装着します。(灯具背面の溝を利用します)



- 3 ③ホルダー側のビスを回して灯具を固定します。

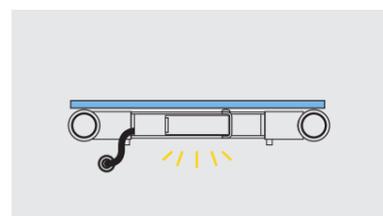


※アタッチメントは左右セットですので①～③を灯具の左右で行なってください。
※④の○部分が下に向くよう、灯具の上下向きに注意してください

- 2 LU-DH1515 を右のように、帆立妻板の左側と右側の奥からはめて、手前のダボへとはめます。



- 3 電源に接続後、LU-DH1515 の溝へ余ったコードを納めます。付属のレールカバーをハサミなどで適度な長さにカットしてレールの溝に取り付けて完了です。





取り扱い注意事項

よくお読みになり、正しくお使いください

■ AC100Vラインコンセント及びスイッチング電源 (LU-SWC) の設置については有資格者による施工が義務付けられていますので、専門業者にご依頼ください。一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

■ スwitchング電源 (LU-SWC) 及びスイッチング電源コネクタセットアース付 (LU-SWC-CNA) の接続ケーブルには入力 (AC) と出力 (DC) があり、誤った接続をすると**火災・故障**の原因となります。付属の取扱説明書を必ずお読みいただき、正しく接続してください。また、スイッチング電源は発熱しますので、密閉された場所には設置しないでください。設置の際は通気口や十分なスペースを設けるなど放熱性を十分に考慮して取り付けしてください。**故障**の原因となります。

■ 使用環境や使用条件を守り、適正なご使用をお願い致します。誤ってご使用されますと、**故障や事故及び火災等**の原因となります。また、半年に一回程度、電源を切った状態で点検及び清掃を行なってください。

■ 照明器具への入力電圧はDC24Vです。当社指定の各種電源以外は使用しないでください。間違った電源を接続すると、灯具が壊れる可能性があります。

■ 粉塵やホコリの多い場所でのご使用は避けてください。蓄積された粉塵やホコリで熱が逃げず、LEDの寿命が著しく低下すると同時に**破損・故障**する可能性があります。

■ 密閉された箱の中でのご使用、木製品や樹脂製品への取り付け時は、事前に発熱状況をご確認ください。発熱量が多いとLEDの寿命が著しく低下する可能性があります。放熱し、空気が循環するようにご配慮ください。

■ 灯具本体及びアダプタは発熱しますので、アダプタは取り付け間隔を空け、密閉された空間で使用しないでください。また、あらかじめ陳列商品などへの熱の影響をご確認の上、ご使用ください。

■ 灯具本体に異常が認められた場合には、直ちにご使用を中止してください。**損傷**を受けたり、**故障**した灯具本体を使い続けると、重大な事故の原因になります。

■ 電源への接続は指定されたコネクタをお願い致します。指定以外のコネクタを使用すると、**破損・故障**する可能性があります。

■ DC24V用の電源コード (LU-PWC-24V) をご使用の際には、必ず2ピン用のDC24Vラインコンセント (LU-ZLC) をご使用ください。間違って3ピン用のAC100Vラインコンセント (LU-LCF など) にご使用になりますと灯具本体の破損はもちろん、**重大な事故や火災**などの原因になりますので絶対にお避けください。

■ アダプタ及びコネクタは確実に接続してください。間違った接続をしたり、接続状態が不完全な場合、**接続不良によりショート**する可能性があります。

■ コネクタの抜き差しは、必ずコネクタ本体を握って行なってください。コード部を引っ張ると、**破損・故障**する可能性があります。

■ 濡れた手でアダプタやコネクタを抜き差ししないでください。**感電**する恐れがあります。

■ 灯具本体の改造や加工はしないでください。**故障**の原因になります。

■ カバーをはずし、直接 LED に手を触れないようお願い致します。LED が静電破壊を起こし不点灯になったり汚れが付着して照度が落ち、**破損・故障**する可能性があります。

■ LED の光を直視しないでください。直視すると一時的に LED の光が残像として見える可能性があります。直視してしまった場合は、LED の光から視線をそらし、通常的环境下で目を慣らすようお願い致します。

■ 本製品はすべて屋内専用 (非防水仕様) です。屋外や水・湿気の多い場所や結露の発生する状況下でのご使用はできません。

■ 振動・衝撃・粉塵・腐食性ガスの影響を受ける場所では使用できません。

■ LED の発光色には個体差があり、若干の色ムラが出る事がありますのでご了承ください。選別された LED を使用しておりますが、発光色にはバラツキがあります。

■ 灯具本体にハンガーを掛けないでください。**破損にともなう漏電**の恐れがあります。

■ 灯具本体及び電源アダプタからは若干のノイズが発生しております。通常的环境下では問題ありませんが医療機器などノイズに敏感な機器が設置された環境ではご使用にならないでください。

■ 灯具の取り付けまたは配線の際、金属部分より静電破壊が起こる可能性がある為、静電気対策をお願いします。

■ LED は紫外線をほとんど含まないため退色しないものと思われがちですが、可視光により被照射物の一部の染料に退色や変色が発生することがあります。

■ 充電式バッテリーの充電は当社指定の充電器 (同梱品) をご使用ください。

■ 充電式バッテリーは電池リサイクル法により勝手に処分できません。

■ 充電式バッテリーを長時間使用しない場合でも過放電を避けるため、約三ヶ月に一度満充電させてください。(過放電になると電解液が溶出し、**発熱・発火**の恐れがあります)

■ 充電式バッテリーは、点灯などの使用中に充電すること、または充電中に点灯などの使用をすると劣化しますのでお避けください。

■ 旧省令第1項・第2項について、当社製品のアダプタ及びスイッチング電源は特定電気用品に該当し、LED電灯器具を使用するにあたって必ず定められている電気用品安全法、旧省令第1項 別表第八及び別表第十の電気用品名「直流電源装置」、また旧省令第2項も別表第十二国際規格等に準拠した基準「直流又は交流電源用LEDモジュール用制御装置の個別要求事項」に準じております。

■ 万一、煙がでたり、変な臭いがするなどの異常状態が発生した場合はすぐに電源を切ってください。そのまま使用すると、**感電、火災**の原因となります。また、異常状態がおさまったことを確認してから工事店、電器店に修理を依頼してください。

■ 紙や布や断熱材などでおおったり、燃えやすいものに近づけないでください。**故障、火災**の原因となります。

■ 床、什器等の清掃の際は、LEDランプに水や薬品がかからないように注意してください。**故障、感電、火災**の原因となります。

■ 引火する危険性の雰囲気 (ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカーなど) で使用しないでください。**火災、爆発**の原因となります。

■ 粉塵の多いところでは使用しないでください。**火災**の原因となります。

■ 暖房機器、火気などの上や近接したところでは使用しないでください。**火災**の原因となります。

■ LEDランプを被照射面に近接した位置に取付けないでください。被照射面の変色や変質、**火災**の原因となります。

■ LEDランプに塗料などを塗らないでください。**故障、破損、感電、火災**の原因となります。

■ ソケットは確実に取り付けてください。LEDランプ落下、接触不良による**過熱、発煙**の原因となります。

■ 口金のピンが曲がったり、折れたりしたLEDランプは使用しないでください。また、ピンの切断もしないでください。接触不良による**過熱、発煙、落下**の原因となります。

■ 誤って落下させたLEDランプは使用しないでください。**故障、火災**の原因となります。

■ LEDランプの取り付け、取り外しは、ランプの両端の口金付近を持っておこなってください。また、取り付け時は、口金の黒線がソケット羽部に納まる位置まで確実にランプを差し込んでください。**故障、落下によるケガ、火災**の原因となります。

■ 電線、あるいは絶縁処理部に刃物などによるキズをつけないでください。キズがついた状態で使用すると、絶縁破壊により**漏電、感電、火災**の原因となります。

■ 電線の接続点や直流電源装置の口出線には張力を加えないでください。**不点灯、漏電、感電、火災**の原因となります。

■ 口出線を持って直流電源装置を運搬しないでください。接続部での断線、絶縁破壊、接触不良による発熱により、**不点灯、漏電、感電、火災**の原因となります。

■ 風呂場など湿気や水気のあるところでは使用しないでください。**故障、感電、火災**の原因になることがあります。

■ 振動や衝撃のあるところでは使用しないでください。**故障、落下によるケガ、火災**の原因となることがあります。

■ 電線を接続する場合、ゆるみ、抜けないように確実に接続してください。接続が不完全ですと、**漏電、地絡、感電、接続部の焼損、火災**の原因となります。

■ 傷んだり変形した電源コード、接続コードは使用しないでください。**感電、火災**の原因となります。

■ コードの上に重いものを乗せたり、踏んだりしないでください。コードにキズがつかますと**故障、漏電、感電、火災**の原因となることがあります。

■ コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。**断線、火災**の原因となることがあります。

■ 取付工事の際、塗料や接着剤も液状成分、金属粉等がラインコンセント内部に入らないよう注意してください。**故障、漏電、感電、火災**の原因となることがあります。

■ レイアウトによる配置変え時は、コードを挟んでいないか確認してください。**感電、火災**の原因となります。

■ 不点灯、異常発光が見受けられた際は直ちに使用を中止してください。**火災**の原因となることがあります。

■ 電源は使用容量に合わせて選定してください。不適切な容量で使用すると**火災**の原因となることがあります。

■ アース工が必要な場合は専門業者にご依頼頂き確実に行ってください。アース無し、不完全アースの場合、**故障、感電**の原因となります。

■ 定格容量は必ず守ってください。容量オーバーで使用すると過負荷となり**故障、漏電、感電、火災**の原因となることがあります。

■ ルーペルが取り扱う電源やコードなど PSE の電気用品の対象となる製品は、設置、施行の仕方次第で再度お客様にて PSE 対象の電気用品として、各種手続きや法令で定められた検査などが必要となる場合がありますのでご注意ください。

■ 免責事項
保証期間内であっても、次の場合は有償修理になります。ご了承ください。

1. カタログ・取扱説明書・施工説明書・ホームページに記載された用途及び方法以外の施工あるいは使用に起因する不具合
2. 使用上及び施工上の不備または不当な改造、不適切な維持管理による不具合
3. 天災その他自然現象・周辺環境または製造時に実用化されていた技術では予測することが不可能な事象に起因する不具合
4. 経時変化による通常一般的な変褪色、汚れ、サビ、カビ、劣化摩耗などの不具合
5. 犬・猫・鳥・鼠などの動物の害に起因する不具合や虫害に起因する不具合
6. 仕上面の傷、凹みなどの不具合など検取時に容易に発見できる不具合
7. 日本国内以外での使用による不具合
8. 下地材が関係する性能 (防火性能、壁強度など) に関する不具合